

ニュータウンミーティング報告書

平成21年11月

目 次

1	はじめに	1
2	開催経過	1
3	新たなまちづくりへの提案	2
資料 1	すべての意見及び提案	6
資料 2	ニュータウンミーティング参加者	10

1 はじめに

高蔵寺ニュータウンは、居住環境の良好な宅地を大量に供給することを目的として、多摩ニュータウンや千里ニュータウンとほぼ同時期に開発が進み、昭和43年に入居が開始されました。

その後、高蔵寺ニュータウンの人口は着実に増加し、昭和61年には5万人を超えましたが、近年は人口の減少が続いており、少子高齢化の進行や施設の老朽化などの課題が顕在化しつつあります。

こうしたなか、良好な居住環境を維持し、これからも暮らしやすいまちであり続けるためには、その地域で暮らす人々が主体的にまちづくりに関わっていくことが必要です。

本書は、地域団体と市がニュータウンミーティングを開催し、新たなまちづくりについて、意見交換や情報交換を行った内容を整理したものです。

2 開催経過

ニュータウンミーティングの開催経過は、次のとおりです。

開催日	主な内容
平成21年7月16日	「第1回ニュータウンミーティング」開催 ○市から説明 ・市内各地区の状況 ○中部大学豊田教授から説明 ・高蔵寺ニュータウンのこれからの考えるアンケート調査報告 ○意見交換、情報交換
平成21年8月27日	「第2回ニュータウンミーティング」開催 ○市から説明 ・かすがいシティバスの路線の見直し等 ○意見交換、情報交換 (4グループに分かれテーマを決定、提案書提出)
平成21年9月30日	「第3回ニュータウンミーティング」開催 ○決定されたテーマ別に意見交換
平成21年11月20日	「第4回ニュータウンミーティング」開催 ○報告書の作成

3 新たなまちづくりへの提案

ニュータウンミーティングでは、地域団体からの参加者が、グループに分かれて意見を出し合い、新たなまちづくりについて4つのテーマを設定し、意見交換を行ってきました。

テーマごとに出された提案は、「地域で行っていききたいこと」及び「関係機関で行うこと」に区分し、次のとおり整理しました。

テーマ	高齢化問題
選定の理由・背景	<p>地区内における孤独死の発生や高齢者が通院に不便を感じていること、高層住宅にエレベーターがないため負担となっていることなどから、高齢者が安心して日常生活を送ることができる住環境が必要です。</p>
地域で行っていききたいこと	<p>【孤独になりがちな高齢者への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よりよい信頼関係、人間関係の構築 ○高齢者への友愛訪問や見守り活動 ○高齢者マップの作成 <p>【高齢者の日常生活への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電動車椅子を増やす運動 ○通院や買い物など、外出に苦労している人への送迎ボランティアの創設 ○草刈りや買い物など、高齢者に大変な作業の手伝い ○ご近所で「衣・食・住」が満たされる相互組織の構築 ○日常生活において対応できることを登録しておく「お手伝いボランティアシステム」の創設
関係機関で行うこと	<p>【孤独になりがちな高齢者への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○配食サービスの充実 ○気軽に交流できる場所の創設 ○高齢者マップの作成支援 ○高齢男性向け料理教室の開催 ○弁護士などへの無料相談 <p>【高齢者の日常生活への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バスによるコンビニサービス ○足腰の不自由な方や車のない人へのタクシー券などの発行 ○送迎ボランティアに関する情報提供 ○「お手伝いボランティアシステム」への支援 ○高層住宅にエレベーターやスロープを設置 ○公園に高齢者向け体力作り器具を設置 ○ニュータウン固有の課題に絞った優先順位付けや実施時期などの体系的な整理

テーマ	ニュータウンの活性化
選定の理由・背景	<p>多様な能力や特技を持った方々に地域活動への参加を促すなど、地域における市民活動の活性化が必要です。また、空き地や空き家が増えていることから、若い世代の定住を促進していくことが必要です。</p>
地域で行ってみたいこと	<p>【地域の市民活動の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元の人材発掘 ○まちの活性化に役立てるよう、地域活動への積極的な参加 ○区・町内会・自治会、地区社会福祉協議会、地区コミュニティの一層の活発化 ○地域力向上の意識共有による地域間格差の是正 ○ボランティア活動へ次世代の参加促進 ○老人会活動への協力 ○世代間交流事業の見直しと充実 ○クラブ活動の補助などを行う学校応援団を創設 ○空き教室を活用した地域の催し物の開催や地域拠点づくり ○災害への住民意識の向上や弱者へのいたわりの心が育てられるようなイベントの開催 ○祭り行事の実施 <p>【若い世代の定住促進への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の住替えなどのお手伝い
関係機関で行うこと	<p>【地域の市民活動への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動可能な分野等を登録する人材バンク（地域版人材リスト）とボランティアセンターの設置 ○専門分野の技術を若い人たちに教育する場の提供 ○小学校の空き教室等の利用支援 ○地域活性化などに取り組む NPO 等の市民活動団体へのサポート ○賛同できるものに参加できるように、それぞれの団体の情報公開 <p>【若い世代の定住促進への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き家になった住宅情報提供サービスや住替え相談の実施 ○若い人に住宅を貸すなど、安心して住宅を預けられる第3セクターの設置 ○二世帯減税や同居減税 ○10年、20年後のニュータウン将来プランを作成 ○UR 都市機構集合住宅のリニューアル

テーマ	安全で活力があり、魅力のある環境づくり
選定の理由・背景	だれもが安心して暮らせる環境づくりや、若い世代の転入を促すため雇用や子育て環境の充実など生活環境を整えることが必要です。また、自然やまちなみなど、他の地域にまちの魅力を発信することが必要です。
地域で行っていききたいこと	<p>【だれもが安心して暮らせる環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ごみ出しマナーの向上など地域課題への対応 ○防犯意識の啓発、防犯対策のPR等を通して、地域防犯力の向上と住民の協力体制の確立 ○災害に強い地域づくりのために、防災訓練や啓発活動の実施 ○子どもたちの登下校時の見守り活動 ○花のあるきれいなまちづくりの推進 <p>【子育てが安心してできる環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○NPOによる学童保育的な子育て支援 <p>【まちの魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域再発見をテーマとした自然観察ガイド付きウォーキングや軽登山の拡大 ○他の地域より完備されたまちであることの発信 ○魅力ある住環境の維持
関係機関で行うこと	<p>【だれもが安心して暮らせる環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まだ高齢者とまでいかない人たちが楽しく暮らしていけるよう、住宅地でも喫茶店や日用品店を気軽に開ける環境づくり ○非常設備品など防災設備の再点検と施設のバリアフリー化 ○児童見守り隊の活動支援 ○警察によるパトロール強化 <p>【若い世代の流入促進への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○雇用の確保と促進 ○運動施設（体育館、多目的ホール、サッカー場等）の整備 ○高森台の未利用県有地などの活用検討 <p>【子育てが安心してできる環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援拠点（児童館等）の整備 ○小児の入院や産婦人科への対応として、保健センターの救急的な活用 ○子育て環境や教育環境の保持 ○小中学校の活用方法の検討 <p>【まちの魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域再発見をテーマとしたイベントへのボランティア公募

テーマ	交通を考える
選定の理由・背景	高蔵寺ニュータウンには坂が多く、高齢者や障がい者などの外出に大きな負担となっているため、公共交通の重要性が高まっています。また、交通マナーの向上や交通安全施設の整備など、道路交通の安全性を高める必要があります。
地域で いき たい こと	<p>【公共交通の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自家用車に乗らずに、サンマルシェ循環バスなど公共交通機関を利用 <p>【交通安全活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不法駐車の根絶に向けた活動 ○交通マナーを向上するための活動
関係 機 関 で 行 う こ と	<p>【交通網等の充実・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バス交通全体で乗り換えを考慮した運行時刻の改善 ○サンマルシェ循環バスの増便、路線拡大、時間延長 ○かすがいシティバスのバス停の充実 ○車に乗らない日（ノーカーデー）をつくり、バス代の割引きやバス券を配布 ○電池式自転車への補助金の検討 <p>【道路交通の安全性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県道庄名一名古屋線の整備 ○車椅子で通行できる歩道の整備 ○交通安全施設の整備 ○電線の地中化 ○不法駐車をなくすため、賃貸駐車場の設置

資料1 すべての意見及び提案

高齢者問題関連

No.	内 容
1	孤独死の発生を少なくするための方策が必要。
2	孤独死対策として、町内会への加入など、地域との交流を促進することを考えてはどうか。
3	高齢化に対し細かな声掛けなどにより、だれもが心をわり、言葉を交わすまちでありたい。
4	地域ぐるみで高齢者の安全確保のため、見守り活動を行う。また、民生委員や地区社協福祉委員、福祉協力員等を中心にネットワークを広げていく。
5	単身高齢者への声かけ
6	お年寄りの話し相手をする。
7	高齢者の情報を把握することが困難なため、高齢者マップ作成の情報支援と活動費への支援を希望
8	寝たきり高齢者等の買物のお手伝いできればと思うが、プライバシーの壁等があり情報が入手できず思うように活動できない。
9	町内の連絡を密にして、孤独死を防いでいければよいが、プライバシーや個人情報の問題がある。
10	電動車椅子を増やす運動
11	地域行事への出席に不安がある人、閉じこもりを余儀なくされている人、通院・買い物ができない人などを対象に送迎ボランティアを創設する。また、創設にあたり制度化の可否、法的事項等の情報提供をしてほしい。
12	草刈など高齢者には大変な作業の手伝い
13	ご近所で「衣・食・住」が満たされる相互組織の構築
14	安心して居住できる環境づくりのため、日常生活において対応できることを登録しておき依頼に応じるお手伝いボランティアシステムを確立する。
15	高齢者や子育て世代など様々な分野で支援が可能となる環境を整備するため、お手伝いボランティアシステム（センター設置）を確立する。
16	配食サービスを実施する。
17	孤独になりがちな単身の高齢者のために、気軽に交流できる場所をつくる。
18	高齢男性向けの料理教室の開催
19	孤独死の対策として、弁護士などへの相談を無料で得るようにはどうか。
20	不便な所にはバスのコンビニが来てくれるサービス
21	足腰の不自由な方や車のない人が、病院や買い物等に利用できるタクシー券のようなものを発行する。
22	高蔵寺ニュータウンは、他の団地に比べて高層住宅のリニューアルが遅い。
23	高層住宅にエレベーターやスロープを設置するとともに、あわせて駐車場を整備する。
24	高齢者対策として、エレベーターやリフトを整備する。
25	公園を有効活用する。(これから増える高齢者の外出促進と小さな子どもとの触れ合いのために、公園に高齢者向けの体力作り器具を設置する。)
26	高齢者が利用しやすいよう、押沢公園集会所の登り石段をゆるやかなスロープの通路に改修してほしい。
27	ニュータウン固有のテーマに絞って順位を決め、だれが、いつ行うなど体系的にまとめてほしい。

ニュータウンの活性化関連

No.	内 容
1	地元の人材発掘、地元への知識・能力の提供へのお願い、働きかけ
2	まちの活性化に少しでも役立てるよう、元気な間は地域活動に積極的に参加する。(3件)
3	石尾台地域の「地域力」の発展のために微力ながらお手伝いをしたい。
4	地域での活発な交流
5	地域との交流を図るため、あいさつを心がける。
6	地域のことは地域の人々で行う。「共助」の仕組みを構築するとともに、今後は無関心層の取り込みを図る。
7	町内会、地区社協、地区コミュニティの活発化
8	広報の配付など地域の負担を軽減する。
9	地域力向上の意識共有により、地域安全(防犯)、街路の美化、公園整備・管理面等など地域間格差をなくす。
10	老人会活動(松風会の活動)の支援、協力
11	高齢者が持っている能力を地元に戻元してもらうため、これまで実施してきた世代間交流事業内容の見直しと充実
12	子どもたちと地域の方々との関わりをさらに増やして、子どもたちに豊かな人間性を身につけてもらうため、クラブ活動の補助などを行う学校応援団を学校と相談のうえ、小学校単位に創設する。
13	空き教室を地域のふれあい拠点とする。(2件)
14	空き教室を活用し、地域の催し物を開催したい。
15	空き教室については、地域と学校の連携は大切であるため、防犯上の問題がクリアできれば貸し出してもよいと思う。
16	楽しめるだけでなく、災害に対して住民の意識を高め、協力し合うことや、弱者に対するいたわりの心が育てられるようなイベントを開催する。
17	祭り行事の実施
18	地域版人材リストを作成し、活躍の機会を提供する。
19	ニュータウンに住む人々の能力を地域で活かすため、活動可能な得意分野等を登録する人材バンクとボランティアセンターを創設する。
20	色々な専門分野の技術を持っている退職された方にサポーターになってもらい、若い人たちに技術を教える専門的技術教育の場を設置する。
21	NPOをもっと活用するシステムを築く。
22	市民活動に対する支援が必要ではないか。
23	賛同できるものに対して行動したいので、それぞれの団体や機関の積極的な情報公開を望む。
24	若い人に住宅を貸すなど、安心して預けられる第3セクターを作る。
25	マイホームを住み替えるシニアが増えているため、若い人たちにマイホームを貸すなど住宅資産の有効活用を図る。
26	高齢者に住みやすく、また子どもも育てやすい環境とするため、市やUR都市機構による住宅相談の実施
27	若い世代が移住しやすいための政策(例えば、二世帯減税や同居減税、子育て支援など)を積極的に行う。
28	二世帯住宅充実のための補助
29	10年、20年後のニュータウン将来プランを描いて住民と共有してほしい。

30	空き室対策として、UR都市機構集合住宅の魅力あるリニューアルを行う。
----	------------------------------------

安全で活力があり、魅力のある環境づくり関連

No.	内 容
1	ごみ出しについて、防止ネットによる散乱防止対策がうまくいっていないところがある。
2	防犯意識の啓発、対策のPR等を通して地域防犯力を向上させ、犯罪のないまちを目指す。それに向けて住民の協力体制を確立させる。
3	災害に強い地域づくりのため、防災訓練、啓発などを住民対象に行う。
4	防災活動は、日常の問題と比べると深刻ではないが、万が一のことを考えると不安であり、日々の活動にどう位置づけるかが課題である。
5	子どもたちの登下校時の見守り。(3件)
6	災害時の避難所となる体育館の鍵を地域の人にも持たせてほしい。
7	補助を行った児童見守り隊の日常活動のフォローアップ、サポートをしっかりと行い、生きたお金の使い方をすべきである。
8	安全できれいなまちづくりを進めるため、花のあるきれいなまちづくりに取り組む。外に出てもらうことによって、コミュニケーションも図れる。
9	NPOによる学童保育的な子育て支援
10	郷土春日井の自然を再発見するため、「地域再発見」をテーマとした、自然ウォーキングや軽登山を実施する。
11	「地域再発見」に関して、自然ウォーキングや軽登山を実施にあたり年に数回、行政によるボランティアの公募ができないか。
12	ニュータウンは、他の地域より完備されたまちであることを伝えたい。
13	傾斜地が多いということはデメリットではなく、健康に良い街としてPRするなど、プラスの発想に転換することが必要ではないか。
14	魅力ある住環境を維持すること
15	まだ高齢者とまで行かない人たちが楽しく暮らしていけるよう、住宅地で喫茶店や日用品店などを気軽に開ける環境づくりが必要ではないか。
16	一般・高齢者には使用できない消火ポンプ、非常電源など備蓄品の再点検と施設のバリアフリー化など防災設備の見直し
17	町内会などでは限界があるため、警察によるパトロールを強化する。
18	若い人の流入を促進するため、生活環境の整備に雇用の確保という要素を是非加味して欲しい。
19	多目的運動施設(体育館、多目的ホール)を造ってほしい。
20	高森台の空き地を利用して、サッカー場を整備してはどうか。
21	高森台の県未利用地の空地の利用は今後どうするのか
22	中央台交差点用地の有効活用について検討してはどうか。
23	高齢者から子どもまでが利用できる施設があればいいと思う。
24	子どもたちが安心して屋外・屋内で遊べ、子育て中の親が交流できる場所が欲しい。
25	子どもを育てやすい環境を整えるために、児童館を整備する。

26	子育て支援サロンには広範囲な地域から参加者が多く押沢公園集会所はあまりにも手狭なため、子育て支援の拠点を整備して欲しい。
27	小児科の入院や産婦人科が東部地区にはないため、保健センターを救急的な施設にする。
28	小学校の統廃合がいつどうなるのかという不安を減らすため、統廃合に関する情報の開示と早期決定を行う。
29	空地・空き家が増え、土地代など資産価値も下がりスラム化しかねないので税金投入の姿勢が欲しい。

交通を考える関連

No.	内 容
1	サンマルシェバス循環を増便する。
2	公共交通網を増やす施策やバス全体で考えた施策が必要である。(例えば、1枚のカードで名鉄路線バス、サンマルシェ循環バス、かすがいシティバスすべてに使える。乗り換えバス代を安価にするなど。)
3	サンマルシェ循環バスに税金を投入し、市民の便宜を考えた路線拡大、時間延長などを図る。
4	かすがいシティバスについて、石尾台中学校区の石尾台、押沢台、玉野台にバス停がないのは残念
5	かすがいシティバスについて、10月の改善後も利用しにくいし、利用できなかった地区は今もできない。
6	地域内外のバス路線について要望を述べることは簡単であるが、その背景を十分認識しての発言が肝要である。
7	住民の交通意識改革のため、車に乗らない日(ノーカーデー)をつくり、その日はバス代の割引きや店での買い物時にバス券を配る。
8	自家用車に乗らずに、サンマルシェ循環バスを含めた公共交通機関を利用する。
9	高齢者の外出を促し、健康増進を図るため、坂道の多い高蔵寺ニュータウンにおいて、電池式自転車への補助金を検討する。
10	放置車両発生の一因でもあり、交通安全の面でも極めて憂慮すべきであるため、不法駐車根絶に向けて、町内会・自治会の一層の尽力を切望する。
11	団地内の徐行や坂道での減速など運転マナーが守られていない。
12	歩行者の危険な横断が見受けられる。
13	県道庄名一名古屋線の整備
14	高低差が大きく車椅子での通行が不可能なため、歩道整備
15	交通事故の防止を図る。(道路区画線が消えている、アピタの十字路の道が危ない。)
16	電線(電力・CATV・電話)の地中化
17	地区内の駐車場が不足しているため、利用されていない土地などを使い増やす。

資料2 ニュータウンミーティング参加者

区分	団体名	氏名	
区・町内会・自治会	藤山台中学校区	浅津 信雄	
		林 美子	
	岩成台中学校区	伊藤 康裕	
		水野 みずほ	
	高森台中学校区	三浦 孝之	
		村上 久美	
	石尾台中学校区	加藤 千恵子	
		藤井 亜紀	
	高蔵寺区	佐野 説子	
		施 直美	
	地区社会福祉協議会	藤山台地区社会福祉協議会	北折 成美
		岩成台地区社会福祉協議会	太田 省三
岩成台西地区社会福祉協議会		安井 史子	
高森台地区社会福祉協議会		稲塚 美枝子	
東高森台地区社会福祉協議会		藤田 道子	
中央台地区社会福祉協議会		田中 久美子	
石尾台地区社会福祉協議会		袴田 豊	
押沢台地区社会福祉協議会		藪木 聰博	
地区コミュニティ	高座地区コミュニティ推進協議会	松本 義郎	
	石尾台地区コミュニティ推進協議会	吉田 光雄	
	押沢台コミュニティネットワーク	深谷 良雄	
	高森台コミュニティネットワーク	前田 進吾	
	中央台コミュニティクラブ	岩本 ゆかり	
	コミュニティ岩西	伊藤 紀三一	